

北海道の印刷

11

第810号

2023年11月10日 発行

北海道遺産

小樽の鉄道遺産

(小樽市)



未来に守り伝える北海道最初の鉄道の歴史

明治13年11月28日、小樽手宮一札幌間に、アメリカ人技師クロフォードの指導のもと、待望の鉄道が開通。2年後、幌内炭鉱に到達し、石炭の搬出が開始された。港一鉄道結節のまち小樽は急速に発展し、北海道の開発を先導するまちに成長。石炭から石油に、港も日本海から太平洋に移ったが、北海道の発展を支えた鉄道遺産は、国の重要文化財、鉄道記念物にも指定され、野外展示の約50両の車両を含め、鉄道技術の発展を示す貴重な近代遺産として保存されている。また近年、線路跡に散策路を添わせ、各種イベントの会場としても親しまれている。

(北海道遺産公式サイト <https://www.hokkaidoisans.org/> より引用)

【写真】手宮線跡地 (小樽市)

INDEX

- 3 令和5年度第4回理事会開催される
- 4・5 2023全日本印刷文化典広島大会開催される
- 6 令和5年度全青協北海道ブロック協議会・第29回北海道青年印刷人フォーラム開催される
- 7 第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集のご案内
- 8 ミニさっぽろに「まちの印刷屋さん」を出展
- 8 (株)アイワードが2023自費出版・研究出版・記念誌展を開催
- 9 全印工連ケースメソッドセミナーのご案内
- 10 全印工連組合功労者顕彰受賞者のご紹介
- 10 全印工連優良従業員表彰受賞者のご紹介
- 10 北海道印刷関連業協議会令和6年新年交礼会のご案内

北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp

この印刷物は、CSRに取り組む印刷会社が製作した印刷物です。

下期事業スケジュールを決定・ 組合事業参加メリットを啓発 令和5年度第4回理事会開催される

令和5年度第4回理事会が、10月6日午後1時30分から、札幌市中央区の札幌パークホテルで、理事11人と監事2人が出席して開催され、下期事業スケジュール、組合員事業参加メリットの啓発などを決定した。

理 事会は、定数報告の後、岸理事長を議長に議事が行われた。

最初に、報告事項として、

- (1)事業実施状況について、6月の第3回理事会以降の事業実施状況を北印工組、全印工連・関連団体に大別して説明された。
- (2)財務状況について、第2四半期（9月末）の中間決算について、貸借対照表、損益計算書、予算対比表、賦課金納入状況について説明された。
- (3)第33回北海道情報・印刷文化典旭川大会の開催結果について、8月25日開催の記念式典に123人、記念講演に127人、記念パーティに121人、26日開催の記念ゴルフ大会に34人が参加したことが報告されたあと、植平副理事長から参加へのお礼と総括が行われた。
- (4)HOPE2023の開催結果について、4年振りにコロナ規制のない通常開催で、9月6日・7日の両日に開催され、展示会に48社84小間が出展し、8セッションのセミナー行われ、会期中2,617人の来場者があったことが報告された。

次に、議事に移り、

- (1)令和4年度下期事業スケジュールについて、組織の拡大、広報活動の強化、未来を創る業界運動の展開、共済事業への加入促進、福利厚生事業の実施、組織・財政状況の検討を柱として、それぞれの実施事業の内容・実施スケジュールが説明され、決定した。
- (2)組合事業参加メリットについて、全印工連事業の組合員メリット表について説明されたあと、それに基づいて組合事業に参加することにより得られる金銭的メリットについて項目別に説明し、いずれかの事業に参加している各組合員（名称は非表示）の受けるメリットのシミュレーションを行った結果を提示し、各支部で事業参加を促していくことが説明され、決定された。
- (3)次期理事長推薦委員会の設置について、来年度が役員の改選年に当たることから、理事長候補者の選出手順〔内規〕に基づき、次期理事長推薦委員会の設置ならびに委員9人を決定した。第1回委員会は、明年1月10日に開催することとした。
- (4)新たな化学物質規制に関する説明会について、労働安全衛生法が改正され、リスクアセスメント物質を扱う（使う）工場は、来年4月から各対応が努力目標から義務化に変わるため全国で説明会が開催



されていて、北海道でも11月2日に開催され、オンラインでも参加できるので、組合員に案内しているが、各支部でも参加を促していくこととした。

- (5)委員会の活動状況について、各担当委員長からそれぞれの委員会の実施事業・スケジュールなどの説明が行われた。

▶組織共済委員会（植平委員長）

全印工連組織共済委員会が9月15日に旭川で開催された。共済事業のほかBCPIについても検討を行った。

▶経営革新・マーケティング委員会（岡部委員長）

当委員会はいろいろなセミナーを行っている。11月に事業領域のセミナーの開催を予定しているので詳細が決まったら案内する。

▶教育研修委員会（矢吹委員長）

印カレeラーニングを含めて印カレの利用を進めていく。

印刷営業講座のオンライン開催を予定しているので、詳細が決まったら案内する。

▶環境労務委員会（大和委員長）

労働安全衛生法の改正への対応を検討している。

▶青年部委員会（齊藤委員長）

全国正副議長会議を8月19日に札幌で開催した。9月23日に全青協北海道ブロック協議会を開催した。今期テーマの本業を拓げる事業戦略～儲かりノベーション発想～について4時間30分セミナーとグループワークを行った。

以上で、議事を終了し、各支部の活動状況ならび現況について報告が行われ、理事会を終了した。

2023全日本印刷文化典広島大会 5年振りに盛大に開催される

「真っ赤に燃やせ!印刷魂～水の流れが大地を創る。人の心が未来を拓く。」

2023全日本印刷文化典広島大会が、10月13日午後1時30分から広島県広島市のリーガロイヤルホテル広島で、「真っ赤に燃やせ!印刷魂～水の流れが大地を創る。人の心が未来を拓く。」をキャッチフレーズに、記念式典・全印工連メッセージ・記念講演・記念パーティの4部構成で、全国から580人が参加して開催された。

また、翌14日には全印工連フォーラムが開催された。

記 念式典は、宇都宮公德実行委員長（広島県工組副理事長）による開会宣言、国歌斉唱につづき、大会長の中本俊之広島県印刷工業組合理事長が、「全日本印刷文化典は2018年の高知大会以来5年振り、広島では50年振りの開催となる。本来であれば2020年に開催される予定であった長野大会が延期され、2021年に中止になった。長野大会のテーマは『届けたい一夢、希望、感謝。』その思いも載せ広島大会の幕を開けたい。準備期間の大半はコロナの情報収集に追われたが、広島に来て良かったと感じていただきたいという一心で組合一丸となって準備を進めてきた。大会のキャッチフレーズは、『真っ赤に燃やせ!印刷魂～水の流れが大地を創る。人の心が未来を拓く。』である。印刷業界を取り巻く環境は厳しさを増しているが、決して下を向かず、強い気持ちで未来を切り拓こうというメッセージである。原爆やさまざまな自然災害などの困難から何度も立ち上がってきた広島から、全国の仲間たちにそして地元広島に熱いエールを送りたい」と開催工組代表あいさつを述べた。

次に、滝澤光正全日本印刷工業組合連合会会長が、「コロナ禍の影響により、今や印刷産業に対する期待と需要は一変した。全印工連では、『Happy industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業』をスローガンに掲げ、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指し、『DXによる生産性



の向上』、『事業領域拡大による新たな価値創出』、『サステナブルな事業経営』を基本的な考え方として、社会から求められる魅力あふれる産業へ向けて各種事業を推進している。特に『DX-PLAT』の運用を通じて印刷産業の構造改革を図り、これからの時代にふさわしい印刷産業の姿を確立することを目指している。今日の印刷文化典で目指すべき方向性の共有と多くの人々や社会に夢と潤いを与えることのできる印刷産業人としての誇りを再確認し、印刷産業のすばらしさをアピールする機会となれば幸いである」と式辞を述べた。

来賓紹介後、岸田文雄内閣総理大臣から、「印刷産業は、私たちの暮らしを支える身近な産業であり、印刷業界がコロナ禍を乗り越え、印刷産業の枠を超えて

新しい価値を生み出し、発展していくことは地域経済の活力につながることであり、わが国経済の牽引役となることを期待している」とビデオメッセージが披露された。

つづいて、長尾博之経済産業省中国経済産業局産業部長、玉井優子広島県副知事、松井一寛広島市長から祝辞が述べられた。

表彰では、印刷産業発達功労者顕彰を5人、組合功労者顕彰を61人、優良従業員表彰を103人の方々が受賞した。

北海道からは、組合功労者顕彰を山田新一氏（北光印刷(株)・苫小牧）、優良従業員表彰を岩木幸吉氏（あさひ印刷(有)・旭川）、沼倉圭子氏（同）、小坂橋信幸氏（中村印刷(株)・旭川）、中村良子氏（同）の5人が栄えある受賞をした。

受賞者を代表して、印刷産業発達功労者顕彰を受賞した臼田真人前会長が、「全印工連事業への参画から会長退任まで一歩も足を止めることなく駆け抜けた12年間であった。この間の全国の印刷産業人との出会いは、私にとってまさに宝であり、かけがえのないものになっている。人生100年時代と言われる。54歳の私はまだまだ人生の半ばであり時間もたっぷりある。今回の受賞を機にこれからからも印刷産業の発展に微力ながら尽力していきたい」と謝辞を述べた。

つづいて、小下壯嗣広島県印刷工業組合青年部会会長により印刷文化典宣言が提案され、満場の賛成で採択された。

細川俊介広島県印刷工業組合副理事長の閉会の辞をもって、記念式典を閉会した。

印刷文化典 広島宣言

印刷業界の進歩と発展を祝うために、今日、私たちはここに集まりました。

情報を共有し、思いを伝え、文化をつくる。

印刷技術の発明以来何世紀にもわたり、社会的、文化的、教育的にさまざまな場面で人と人をつなぐ重要な役割を果たし、コミュニケーションやイノベーションへの道筋を示してきた「印刷」。

それがいかに日々の暮らしを豊かで有意義なものにしてくれるのかを、私たちは印刷業界に携わる一員として、この社会に生きる一人として、十分に知っています。

ここに、素晴らしい技術と印刷業界が残してきた偉大な功績をたたえ、これからも来る未来に向けて情熱を失うことなく挑戦を続け、健全に進歩し発展を遂げることを願います。

印刷業界のすべての関係者に、心からの感謝と称賛を送るとともに、ここ平和都市広島から、印刷業界へのさらなる献身を誓います。

令和5年10月13日

2023全日本印刷文化典広島大会

本業を拓ける事業戦略 ～儲かりリノベーション発想～を研修 令和5年度全青協北海道ブロック協議会・ 第29回北海道青年印刷人フォーラム 開催される

令和5年度全国青年印刷人協議会北海道ブロック協議会ならびに第29回北海道青年印刷人フォーラムが、9月23日午後1時から札幌市中央区のかでる2・7で24人が出席して、「本業を拓ける事業戦略～儲かりリノベーション発想」をテーマに開催された。

協議会は、杉川真氏（稚内印刷）の進行で行われた。



岸 昌洋氏

最初に岸昌洋北海道印刷工業組合理事長が、「青年部は結構長い歴史があり、それを今、岩村議長に引き継いでもらっている。私も青年部に所属していたが、いろいろなことをやって、それらが親会（全印工連）に引き継がれているという歴史がある。今日初めて参加された方もいると思うが、こういう混沌とした時代だからこそ、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しながら、ライバルでもあって、年齢を取っていく。あまり友情じみた話はしたくないが、同じように年齢を取っていくので、皆さんで研鑽し合っただければと思う」と来賓としてあいさつを述べた。



齊藤満生氏

次に、開催地を代表して齊藤満生全青協副議長（北海道印刷工業組合青年部委員長）が、「祝日のなか出席いただきありがとうございます。東京からも6人参加いただいている。今日は4時間30分と長丁場になるが、脳みそに汗をかくのでしっかり学んでいただきたい。その後、懇親会も用意しているので大いに交流を図っていただきたい」とあいさつした。



岩村貴成氏

つづいて、岩村貴成全青協議長から、「当社は東京で印刷機3台を有し下請である。企画・デザイン・マーケティングなどは一切やっていない刷り専である。ただ、今期、本業を拓ける事業戦略～儲かりリノベーション発想をテーマで行っているのは、製造だけでの一本足打法では今後はかなり難しいだろうということで、今期のテーマとして全青協正副議長で勉強している。昨年、全国9カ所でブロック協議会を開催し、延べ287人の参加をいただいた。今年2月に総括のような感じで



80人が参加して全国協議会を開催した。本題に入る前に昨年のセミナーをおさらいする。昨年のセミナーの名前は、本業から探す課金ポイントであった。課金ポイントを探すというセミナーであった。収益源を多様化し、利益リノベーションをして利益化を明確にするという内容であった。利益リノベーションは現在の利益・価値を新たな利益・価値獲得に転換させることである。利益創造リノベーションに加え価値創造リノベーションを加えるとより良い結果が出る勉強をした。利益リノベーションを実現するには課金ポイントを探して収益源を多様化することが最初のステップである。その後に利益化をするためにリノベーションをすることが順番になる。今年のセミナーは発想法である。アイデアを創造して、創造を実践して、ビジネスモデルを描く勉強をする。テーマは本業を拓ける事業戦略～儲かりリノベーション発想である」と議長あいさつを兼ね趣旨説明が行われた。

つづいて、岩村議長が講師となり、中小企業におけるイノベーションの実態と課題、ビジネスモデルの意義と原則、ビジネスモデルの描き方～関係注目編～、同～要素注目編～についてセミナーが行われた。

この後、齊藤副議長がコーディネーターとなり4つのグループでグループワークを行い、儲かりリノベーションの実践方法を体験した。

この結果を受けて、白石陽一全青協指名副議長（大阪市）が講師となり、ビジネスモデルの創造サイクル、分析から発想への飛躍、ビジネスモデルの発展についてセミナーが行われた。

第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション作品募集 応募締切迫る!!

全日本印刷工業組合連合会は、「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催する。

全日本印刷工業組合連合会は、各産業界および個々の企業の社会的責任が重要視されている現在、印刷業においてもその責任を果たすためのコンプライアンス活動が求められていることを踏まえ、「すべての人に優しく、誰もが快適に利用できること」を目的として、デザインや文字など、より多くの人に伝える情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン

(MUD) 活動」に取り組んでいる。

この取組をより強固なものにするために、今年も「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」を開催し、高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対し、見やすさ・伝わりやすさに配慮したアイデアに富んだ作品を募集している。

応募期間	2023年9月1日(金)～12月7日(木)
募集作品	高齢者・障がい者や子ども、外国人などに対して、見やすさ・伝わりやすさに配慮したデザイン手法を用いて制作されたもの。 (例) カレンダー・地図・パンフレット・サイン・パッケージ・チラシ・ポスター・ラベル・カードゲームなど
募集部門	①グラフィックテクニック (DTP) 文字、組版、図表、イラスト、色使いなどを工夫した作品 ②商品企画 種別、分野は自由でMUDを使用したオリジナル作品 ③製本、加工技術 折、製本、形態など後加工で使いやすさに工夫をした作品 ※自社制作の成果物として既に流通している製品でも応募可能。 ※既成の自社作品について、MUDに配慮し再制作した“before and after”の作品でも構わない。 ※既成の作品の改善提案の場合は、知的財産権への抵触に注意すること。
応募資格	[一般の部] プロ・アマを問わず、どなたでも応募可能 [学生の部] 大学・短期大学・専門学校・高等学校に在学している学生・生徒
応募対象作品	2022年7月以降に制作されたもの
応募方法	作品1点とデータ1点 (CD-R、DVD、USB等の記録媒体にai/eps/jpeg/pdfのいずれかの形式でアウトライン化して保存したもの) を、出品申込書とともに送付する。 ※受賞作品に選ばれた場合、提出されたデータをもとに受賞作品集の制作を行う
出品料	応募作品1点につき、一般3,000円 学生は無料
作品応募先	公益社団法人日本印刷技術協会 「第17回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」係 〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11 電話03-3384-3111/FAX03-3384-3481
問い合わせ先	全日本印刷工業組合連合会 〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4階 電話03-3552-4571/FAX03-3552-7727

「ミニさっぽろ」に出展

まちの印刷屋さんを、139人の小学生が体験

小学生が、仮想のまち「ミニさっぽろ市」の市民となり、さまざまな仕事を体験する「こどものまちミニさっぽろ2023」が、札幌市ほか6団体で構成するミニさっぽろ実行委員会の主催で、9月30日、10月1日の2日間、札幌市白石区のアクセスサッポロで開催された。

この催しは、小学校3年生と4年生を対象に、働いて給料をもらい税金を納める社会の仕組みを学ぶことを目的に開催された。

今年は、約50のいろいろな業種のブースが設けられた。

北海道印刷工業組合は、札幌商工会議所情報部会と共催で、株式会社正文舎の協力のもと「まちの印刷屋さん」のブースを出展した。

実際に印刷会社の仕事を学んでもらうため、参加者はそれぞれオリジナルのメッセージカードをデザインし、印刷して、裁断までを体験した。

印刷屋さんブースは大変好評を博し、一時は2時間待ちの状態になり、2日間で139人の小学生が印刷会社の仕事を体験した。



2023自費出版・研究出版・記念誌展を開催

(株)アイワード

株式会社アイワード（奥山敏康社長/札幌市中央区北3条東5丁目）は、2023自費出版・研究出版・記念誌展を、10月26日・27日に札幌市中央区のさっぽろテレビ塔特別展示コーナーで開催し、多くの来場者で賑わった。

同展示会では、(株)アイワードと(株)共同文化社が制作した自費出版・記念誌約250点が展示されるとともに書籍制作の流れや制作の留意点を解説するミニセミナーが開催された。

また、相談コーナーを設け、本づくりの疑問・質問に答えた。



北海道印刷工業組合 メールマガジン配信登録受付中

メールマガジンの配信希望は、北海道印刷工業組合のHPから申込受付を行っています。

[URL]

<https://www.print.or.jp>

ケースメソッドセミナー

印刷業界を変える体験型リーダー育成



開催日時／ 1日目 2024年3月1日(金) 12:00～18:35

2日目 2024年3月2日(土) 9:00～12:25

会場／日本印刷会館 〒104-0041 東京都中央区新富1丁目16-8

参加費／30,000円(税込)

対象／経営者・経営者層

申込締切／2023年12月25日(月)

定員／24名

全印工連組合功労者顕彰おめでとうございます。

2023全日本印刷文化典広島大会が、10月13日、広島県広島市のリーガロイヤルホテル広島で開催され、長年にわたり業界の指導・育成に尽力され、振興・発展に大きく貢献された方々の表彰が行われた。

北海道からは、山田新一氏が栄えある組合功労者顕彰を受賞した。



山田新一 氏

北海道印刷工業組合理事・苫小牧支部長
北光印刷株式会社代表取締役
苫小牧支部

全印工連優良従業員表彰おめでとうございます。

2023全日本印刷文化典広島大会が、10月13日、広島県広島市のリーガロイヤルホテル広島で開催され、同一事業所に引続き30年以上勤務し、印刷従業員として勤労精励し、功績顕著ある人に対する優良従業員表彰が行われ、北海道から2社4人の方々が栄える表彰を受けた。

岩 木 幸 吉 氏（あさひ印刷株式会社・旭川支部） 勤続55年
沼 倉 圭 子 氏（あさひ印刷株式会社・旭川支部） 勤続45年
小 板 橋 信 幸 氏（中村印刷株式会社・旭川支部） 勤続31年
中 村 良 子 氏（中村印刷株式会社・旭川支部） 勤続30年

北海道印刷関連業協議会令和6年新年交礼会のご案内

北海道印刷関連業協議会の令和6年新年交礼会が下記により開催される。

新年交礼会は、令和6年の新春に鑑み、印刷業界ならびに関連業界の皆様が一堂に集い、今回は4年振りに本来の形式で、参加者が自由に交流・賀詞交換等が行えるよう運営される。

日 時	令和6年1月10日(水) 午後5時
会 場	札幌グランドホテル 2F 金枝（札幌市中央区北1条西4丁目 電話011-261-3311）
会 費	12,000円